

R6 経営目標にかかる委員意見

	法人名	委員意見	部局・法人回答
4 月 26 日	株式会社 大阪国際会議場	<p>国際会議の 「開催件数」と「成約件数」</p> <p>国際会議等の誘致力の強化の観点から言うと、開催件数だけでなく、成約件数も成果測定指標に残しておくことを再度検討してはどうか。</p>	<p>審議会での意見を踏まえ、法人・所管課で再検討し、成約件数についても成果測定指標に残しておくこととした。なお、成約件数の R5 実績値は目標値を大きく上回ったが、これは利用料金の値上げによる駆け込み分も含まれていることから、目標値の設定については、以下のとおりとする。 (別紙 1 のとおり)</p> <p>R5 実績値 (105 件) と R5 目標値 (43 件) との差である 62 件を、R5 実績値の開催予定年度の割合により按分。</p> <p>R5 実績値の開催予定年度の割合 : R6 44.0%、(R7 34.1%、R8 18.7%、R9 2.2%、R10 1.1%) 62 件を同割合で按分した R6 件数 : $62 \text{ 件} \times 44.0\% = 27 \text{ 件}$</p> <p>→R6 は中期経営計画の目標値 55 件から 27 件を差し引き、28 件を目標とする。</p>
		<p>「各成果測定指標のウエイト」</p> <p>CS 調査の 2 つの成果測定指標で 2 割のウエイトを占めるのは、全体バランスから見ても高いと思われる。他の稼働率や営業利益の指標も含め、各成果測定指標のウエイト配分は再度検討すべきである。</p>	<p>CS 調査の 2 つの成果測定指標について再度検討し、合計で 1 割のウエイトとした。調整した残りの 1 割のウエイトを、国際会議の成約件数へ配分している。(別紙 1 のとおり)</p> <p>なお、他の指標については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率関係… R5 ウエイト合計 15 (主要 3 施設稼働率 10+全館の利用単位稼働率 5) →R6 ウエイト合計 10 (主要 3 施設稼働率 10) ・収支関係… R5 ウエイト合計 30 (営業費用の抑制 30) → R6 ウエイト合計 40 (売上 (施設+サービス) 20+営業利益 20) としており、収益の向上に重点を置くという法人の方向性とも一致していることから、変更なしとしている。

	法人名	委員意見	部局・法人回答
5 月 13 日	(一財)大阪府み どり公社	<p>SNS によるちはや園地の魅力発信 に対するフォロワー数等</p> <p>指標の対象となる SNS のアカウント名等がわかるよう、様式に追記していただきたい。</p> <p>森林環境譲与税により新たに計画的な森林整備に着手した市町村数 (森林を有する 33 市町村中)</p> <p>現在、計画が遅延(令和 5 年度末時点:目標累計 14 市町村に対し実績 10 市町村)しているが、中期経営計画の最終年度である令和 7 年度末に累計 25 市町村の目標達成を行うために積極的な取組みを検討していただきたい。</p>	<p>アカウント名等は次のとおり。(様式 2 に追加。別紙 2 のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Facebook→ ちはや園地・ちはや星と自然のミュージアム ・ Instagram→@chi_haya_enchi (ちはや星と自然のミュージアム) ・ YouTube→ちはや星と自然のミュージアム・自然情報チャンネル <p>・ これまで、市町村における整備計画の策定作業や森林整備の準備作業が計画どおり円滑に行われるよう、研修会の開催や各市町村への巡回指導時の働きかけ等を通じて、森林整備の必要性、実施手法、先進事例の紹介等を行い、市町村支援を行ってきた。</p> <p>・ 令和 6 年度は、これらに加え、次のとおり取組みを強化する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 引き続き研修会の開催や巡回指導等の取組みを継続するとともに、その際には、着手済市町村の事例やスケジュール、着手までの課題等をより具体的に提示・説明を行う。 ②各市町村の実情に応じたより個別具体的な支援の充実を図るため早期に森林整備未着手の全市町村に対してヒアリングを実施し、森林整備の着手に向けた各市町村の課題の抽出を行う。加えて、ヒアリングを行う際には、大阪府が市町村に提供している森林の植生や地形図等のデータをもとに法人から市町村毎の森林整備の方向性案の提案等を行い、着手に向けた準備作業の支援を行う。 ③②にて抽出された市町村毎の課題に対して個別に技術的な助言(※)を行う。 (※法人が持つこれまでの支援実績やノウハウをもとに、森林の状況が類似している市町村の着手までの作業工程や各市町村内で整備が必要と考えられる森林情報、所有者の特定等が困難な森林での所有者調査方法や、同意取得の方法など) ④各市町村に対して定期的に進捗のフォローアップ等を行う。 <p>(様式 4 を修正。別紙 2 のとおり)</p>